

京都光華女子大学 キャリア教育シンポジウム

学生個人を大切にしたキャリア教育の推進

最終成果報告会 (2010年3月6日)

文部科学省平成 19 年度現代 GP「実践的総合キャリア教育の推進」選定

お申込日	年 月 日
ふりがな ご氏名	
ご職業	
連絡先	<input type="checkbox"/> TEL <input type="checkbox"/> E-mail
連絡事項	

〜〜〜平成 19 年度現代的教育二一ズ取組支援プログラム選定取り組みの概要及び選定理由〜〜〜

取り組みの概要

現代社会がかかえる「若者の就労」の問題に対し、キャリア教育の課題を就労意識の喚起・醸成と職業人としての基本的能力の養成と捉える。基本的能力としては、読む、書く、聞く、話す基礎能力の習得から始め、これを発展・高度化した社会人基礎力の習得を目指す。そのため、導入教育から専門教育までをキャリア教育の視点から体系化し、正課の教育課程を大学全体として構築する。さらに、スキルアップを含むキャリア形成・就職支援等の正課外教育との連携を図り、総合的で実践的なキャリア教育課程を構築・推進する。その有効な方法を徹底した個別対応教育に求め、その実現を支援するために ICT の活用を図る。個別対応教育は多様な学生に対して、教育効果を上げるための唯一の解決法である。

これを実現するには時間的・空間的に学習およびコミュニケーション形成の場を広げる必要があり、ユビキタスな教育環境を可能にする ICT の活用で解決する。

文部科学省による選定理由

本取組は、貴学の全学的な取組として着手している、エンrollment・マネジメント（入学から卒業後にいたるまでの一貫した個別対応教育を通じて学生のあらゆる不安や疑問に徹底的に対応し、その過程で主体的な学習意欲を引き出すことによって、より高度な水準で教育理念の具体化を目指す）の一環として位置づけられています。これまで個々に行われてきたキャリア関連教育を体系化し、正課外教育活動のキャリア形成・就職支援との連携を図り、総合的なキャリア教育の体系化を目指したものです。安易な IT 導入によるキャリア教育支援システムには本来悲観的です。しかしながら、全学生を対象とし、かつ 1～4 年生の 4 学年を通じて、10 名以内を原則としたゼミを置き、ゼミ担当者による徹底した個別対応体制（丹念な学力把握と個別指導、成績評価、出席確認なども含む）により、キャリア形成への恒常的な対応をするという人による運用が計画されており、それを IT 活用による支援システムでバックアップしようと試みています。その相乗効果が発揮されることを期待します。本取組が効果的に機能し、実効性があがるよう実施プロセスの経過評価、実施結果の評価・検証をしっかりと行っていただけることを期待します。